

# 若 鷹

笑顔であいさつ日本一

福山市立鷹取中学校だより  
2022年(令和4年)4月6日



## “新学期のスタートにあたって！”

(始業式式辞より)

新型コロナウイルス感染状況が厳しい中、春休みが終わり、新年度が今日から始まりました。

みなさん、進級おめでとうございます。今日からみなさんは、それぞれ2年生、3年生です。「夢」や「希望」を胸に、新し年度を迎えたことと思います。今のこの気持ちを忘れずに、これから1年間、全力で頑張りたいと思っています。

さて、この4月から成人年齢が、現行の20歳から18歳に引き下げられました。約140年ぶりに成人の定義が見直されたことで、新たな時代を感じているところ。何が変わるのか、自分たちの暮らしにどのような影響がもたらされるのか、今から心構えをしておくことが大切です。また、そういう時代の変動に対応するために身につけて欲しい『3つの力』について話をします。

一つ目は、『自分の感情をコントロールする力』です。思い通りにならなくてイライラしたり、失敗して落ち込んだりしてしまうことは誰にでもあります。そこで人にあたってたり、人のせいにしてたりするのは何の解決にもつながりません。自分で気持ちを切り替え、落ち着くことが出来るよう、自分に合った方法を見付けること。よく、スポーツ選手が試合の前に音楽を聴いたり、決まったポーズや動きをしたりしていますが、これも気持ちをコントロールする方法の一つです。ぜひ、自分の感情をコントロールする力をつけてください。

二つ目は、『自分の行動がどのような結果になるかを考える力』です。例えば、明日テストがあるとしたら、みなさんはどうしますか。そのテストに備えて、勉強すればきっと自信を持ってテストが受けられるでしょう。自分の行動の結果は、自分に返ってきます。友達関係においてもそうです。自分が相手にしたことの結果がどうなるのか、また、しなかったらどうなるのか、その時、その場で考えて判断できる力をつけてください。

三つ目は、『周りの人の気持ちを想像する力』です。

気持ちを想像するとは、まわりの人を大切にすることです。人が何をしてほしいと思うか、また何をしてほしいかと思わないか、想像できる人になってください。それが人間関係を豊かにし、学校生活を楽しむ秘訣でもあります。

新しいスタートにあたり、この『3つの力』を一人一人が常に意識するとともに、「夢」や「希望」をもち、その達成に向け努力を重ねてください。

コロナ禍ではありますが、本校のよき伝統とこれまでの取組みを大切にしながら、「何ができるか」、「どうやったらできるか」を生徒のみなさんと教職員とが、しっかりと考えて教育活動に取り組んでいきたいと考えています。生徒のみなさんの頑張りを期待しています。

保護者の皆さま、地域の皆さま、今年度も始まりましたが、生徒が生き生きと活動できる学校を目指し、教職員が一丸となり、しっかりと教育活動を進めたいと考えております。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



## “よろしくお願ひいたします” ～新転任教職員の紹介～

2022年度(令和4年度)教職員人事異動によりまして、この度、6名の者が本校に就任致しました。ご紹介いたします。

青山 大樹(教頭) 元広島県立世羅高等学校  
宮田 貴子(総務事務長) 元福山市立大成館中学校  
栗原 容子(通級指導担当) 元福山市立一ツ橋中学校  
村上 桂子(英語) 元福山市立神辺中学校  
手邊 毅(介助員) 元福山市立城南中学校  
野島 早苗(校務補助員) 新規採用

## “登校前の検温、健康観察カードの記入を”

福山市では、新型コロナウイルスの感染者数が依然高い水準で推移しており、生徒の感染も多数確認されている状況です。登校前の検温、健康観察カードの記入を引き続きお願いします。学校でも感染防止に努めてまいりますので、家庭でもご協力をお願いいたします。